

# ファイラー（注入治療）に今こそ注目！

世界的にメスを入れない非侵襲の治療が主流となった美容医療の分野で、注目度の高まる注入治療について第一人者である神田美容外科形成外科医院の征矢野先生に、上達の秘訣についてお話を伺ってみました。

神田美容外科形成外科医院

院長・医学博士

征矢野進一 先生



「何よりも経験を積みながら見極める“力”を持つこと  
それが注入治療の基本です」

手軽に施術を受けられる。ダウンタイムも軽く、ランチタイムなどを利用して短時間でキレイになれる。そして、何よりも誰にも知られず、こっそりと治療することができると。こういった理由から、注入治療への人気が高まっていくように感じます。

しかも、患者様お一人おひとりの治療時間がスピーディーに終わり、経営面から見ても予約を増やせる、リピート率が上がる等メリットがあります。

でも、その分、難しいのが、患者様の満足“が、それぞれどこにポイントを置いているのかを見極める力が必要だということなのです。

同じようなナチュラルな仕上がりに満足される方もいれば、微細な肌の凸凹が嫌だとおっしゃる方もいる。目尻のシワが消えた分、目頭のたるみに注目がいつてしまいがりに満足されない方もいます。このように、すべての“患者様の満足”を得るには仕上がりの好みをきちんと把握し、そのためにヒアルロン酸を選ぶのか、コラーゲンで治療するのか、注入剤の選び方や希望される治療部位への注入法を見極めなければ成功は望まれません。

さらには、ヒアルロン酸、コラーゲン、ボトックスと、それぞれの特性や違いについても見極める力が必要です。これを知っておかないと、様々な患者様の要望に応えることは不可能です。

そして、この見極める力を習得するためには、何よりも注入治療の経験を積んで感覚で覚えていかなければなりません。経験を積むことで、ドクター毎に使いやすいファイラー、打ちやすい注入法、針の太さ等、ご自身のクセなども併せてわかってくるのです。

経験を積むには患者様への治療回数をごなしながら学ぶことがいちばんですが、私は自分自身の腕の内側に各種薬剤を打つてどのように変化していくか経過や効果を比較し確かめたり、自ら目の下の窪みに注入して変化を体感したり、新しい製剤に出会う度に、今でも欠かさず腕に試し打ちをして製剤の特性を確かめます。

「いまや「手術」と比べて治療数が逆転するほどに注入は人気の治療法です」

世界的に、手術に比べて美容治療は過半数を超え逆転するほど非手術の傾向となり、注入治療への注目度は高まっています。

効果の持続力の問題はありますが、手術をしても永久に保てるとは言えませんが、また、ランチタイムなど短い時間に気軽に施術を受けることができ、ダウンタイムも気にせず職場へ戻ることができると。この日常生活や仕事へのメリットを考えると、注入治療の世界的なブームもうかがえます。

さらに、ヒアルロン酸など、もともと体内に存在し、時間の経過とともに自然に吸収される、副作用がほとんどない、やり直しがきくといった安全性に、注入治療を選ばれる方が増えているのようになります。



ずけます。

最近では、硬めで拡散しにくいヒアルロン酸で、鼻やアゴの形成に向くタイプやアレルギーのないコラーゲンなど新しい製剤も増えていきます。いわゆるシワやたるみ、肌の凹み等の改善以外にも応用範囲は広がり、今や、美容医療の分野以外でも注入治療が使われています。患者様の満足に比べ信頼を築きリピート率をアップするという点からも、今後ますます広がりを続けていくと思っております。

神田美容外科形成外科医院  
「注入療法研究所」

〒101-0044  
東京都千代田区鍛冶町2-7-2  
TEL 03-3257-0111  
<http://www.shiwatori.org/>

